

3月定例会報告 平成30年度予算審議・審査

人・自然・文化がおりなす 活力とやさしさのあるまち  
飛驒高山の実現に向けた  
平成30年度予算 745億7530万円を可決

| 区分   | H30年度      | H29年度      | 対前年度増減      | 対前年度伸率 |
|------|------------|------------|-------------|--------|
| 一般会計 | 45,100,000 | 46,300,000 | △ 1,200,000 | △ 2.6% |
| 特別会計 | 25,847,900 | 28,040,900 | △ 2,193,000 | △ 7.8% |
| 企業会計 | 3,627,400  | 3,415,600  | 211,800     | 6.2%   |
| 計    | 74,575,300 | 77,756,500 | △ 3,181,200 | △ 4.1% |

(単位：千円)

新年度予算における  
市民意見の反映を  
チェック

予算決算特別委員会

予算審査においては、これまでの地域別市民意見交換会などで伺った市民意見の反映状況や議会提言への対応、市民生活への影響、第八次総合計画との整合性といった観点から多くの質疑を行いました。

平成29年度

一般会計補正予算

関入り込み客数の増加が図れないなか、市営スキー場に対し、指定管理委託料も含め、どういった対応をとっていくのか。

関スキー場を取り巻く環境が厳しいことは認識している。副市長をトップとするスキー場のあり方を検討する委員会を設置しており、今後、早期に方向性を見出す。

平成30年度

一般会計予算

総務費

主な市民意見

- 移住定住やUIJタインの推進
- 企業誘致
- 結婚支援
- 支所地域のあり方
- 遊休資産の活用
- 協働のまちづくり
- 公共交通の利便性確保

関まち協への支援金の見直し内容は、

関事務局人件費の助成のほか、各まち協が課題を解決するために取り組む事業に対し、推進会議で認定されたものを支援する。

関協働のまちづくり人材育成支援の内容は、

関まち協が実施する人材育成事業について講師派遣する。

関町内会加入促進への取り組みは、

関町内会連絡協議会のアパート等の貸主への加入協力とともに、市民課・支所・都市整備課において転入時に加入を呼びかける。

関公共施設の官民連携事業（PPP/PFI）の対象施設の想定は、

関施設を絞り込んではいないが、駅西地区や市場・給食センターなどが想定される。

関免許返納の現状と見込みは、

関平成29年の返納者が409人、公共交通利用券を213人に交付しており、30年度も同程度を見込んでいる。

関観光特化型バスの運用と待合所整備の内容は、

関平成30年度の公共交通活性化協議会の中で、天満や不動橋など外縁部の駐車場を活かす運行ルートを決定的に。待合所は駐車場を利用し整備する。

関若者活動拠点整備の方向性は、

関大学連携のなかで、まちなかに活動拠点を設け、フィールドワークを推進してもらう。

関ハザードマップの更新の中心は、

関県土砂災害警戒区域

に則した避難所・避難経路を追加したもので、各地域のワークシヨップで共有していく。

関防災行政無線の難聴地域解消策は、

関岩滝地区において、施設の新設と移設を各1箇所実施する。

関AEDの屋外設置の内容は、

関温度管理できる壁掛け式の屋外設置ボックスを市内104施設・集会所等に計画的に設置する。

民生費

主な市民意見

- 子育て家庭への支援
- 介護予防
- 高齢者福祉

関子どもにやさしいまちづくり計画の見直しに関する調査内容は、

関次期計画策定のための生活実態調査を行う。

関夜間保育の受け入れ体制と定員は、

関保育士正職2名・パート5名体制で、定員は10名である。

関子育て家庭の多世代